

---

## 高まる「食の安全」への関心

---

岡山県上海事務所 専任スタッフ 馬小琳

### 民以食为天

中国には「民以食为天（民は食を以って天と為す）」という古いことわざがあります。この意味は、食は何より大切だということです。中国は古代から農業の国であり、この言葉から、中国人が食を重要視しており、食は命の基礎だと考えていることが分ります。

歴史はいつも前に向かっていきます。中国では過去100年間に、非常に大きな変化がありました。特に1978年の改革開放後の30年間で、中国の経済は大きく発展し、国民の生活レベルも上がっています。特に食のレベルが上がり、食品の種類が豊富となり、中国全国の味をどこでも食べるができるようになりました。これは1950年代の中国では想像もできないことです。

### 経済発展と「食の安全」

経済が発展する一方で、これに伴う開発により、農地の工業用地への転用が進み、農地面積が縮小しています。その結果、13億4千万人という膨大な人口を擁する中国にとって土地利用の重要性がさらに増しています。ある業者では、農作物の成長を早めるため、有害農薬や化学肥料を使用し、年一回しか収穫できない農作物を年何回も収穫しています。このような農作物を安心して食べることができるでしょうか。農民も利益を最大にするため、化学肥料を使用し、農作物を短時間で収穫します。ニラやネギなどは、食べる前に、よく洗って、頭の部分が

ら1センチぐらいを切らなければなりません。頭の部分に農薬が残っていると新聞でも報道されました。

農作物だけではありません。企業の中には人々の命を無視し、利益を最大限に追求するものもあり、その結果、安全性に劣る食品が生産されました。近年、中国市場で食品安全に関わる事件が絶えません。粉ミルクの事件は記憶にも新しいところです。「メラミン」が混入した粉ミルクを飲んだ乳幼児の死亡事件に驚いた中国人は、国産の粉ミルクに対する信頼を無くし、インターネットを通じて、日本製やアメリカ製の粉ミルクを買い求めるようになりました。さらに、わざわざ香港やマカオに粉ミルクを買いに行くようになり、香港やマカオの現地の人が粉ミルクを入手できなくなるという現象が起きています。

### 安全確保を目指して

中国人の「食の安全」に対する意識が高まるのに伴い、有機野菜や有機果物が近年登場しました。特に大型スーパーやデパートでよく売られています。価格は普通の野菜や果物よりちょっと高いですが、安心して食べられますので、一定の消費者を持っています。こうした市場を狙って、中国に無農薬野菜工場を建設した日本企業もあります。

「食の安全」の問題はいつも中国人を当惑させています。中国で完全に「食の安全」を保証

するには徹底的な管理や法律上の罰則、責任者の責任感などが欠かせません。また外国の食品企業が中国に参入することは、中国の食品企業に一定な潜在脅威をもたらし、彼らの競争意識を刺激し、食の安全管理に対する責任意識も高まるでしょう。いつか「食の安全」に気を配らず安心して食べられることを期待します。

(2011年3月)